



## 文教委員会(5月16日)開会

### メディアコスモス3月雨漏り・中学の転落事故対応報告

岐阜市議会文教委員会は5月16日に委員会を開き、3月議会中に確認されたメディアコスモスの雨漏り事故について報告を受ける事になりました。2回にわたり、委員会で設計者と施工者に質疑をしましたが、その際、「夏型結露」に執着する見解が、とりわけ設計者から出されていました。（「雨漏りと言うなら、場所を示せ」設計者発言）

しかし、3月議会中に起きた落水は明確に「雨漏り」である事が確認されたと報道されています。この件について、委員会として詳しい報告を受けることとなります。同じく、中学校での転落事故についても新聞報道以外には経過が知りえていない点も有り、委員会としての質疑が行なわれます。現文教委員会は5月本会議で新委員に交代です。

### 3月議会 本会議での 松原のりかず メディア討論 は

メディアコスモスの雨漏り問題です。

文教委員会で2回も、設計業者、施行業者の出席を要請し、質疑をして来ましたが、施設完成とされた時から。足掛け3年経過し、4年目の瑕疵担保期末は迫っていますが、落水は止まっていません。3月議会会期中にも落水の報告がされています。

瑕疵担保期間10年への改定方針が、委員会でも議論され文書化され、業者へ渡されとの事ですが、合意の無いまま、返答の無いまま、半年になろうとしています。業者の態度は誠意ある対応とは思えません。

締め切り期日を明記し要求すべきです。確認文書化、録音など証拠の確保を行なうべきです。また、雨漏り現象により、岐阜市役所の建築技術水準を指摘されています。まちづくり部も、契約に関しては行政部も、市民参画部の支援を強化すべきです。雨漏りを確認しながら、最終支払い27億円に了承した市長に責任は重いと改めて指摘いたします。

(3月議会本会議 松原のりかず 討論より)

### 3月議会 教育予算での 松原のりかず 討論は

教育予算です。

給食費軽減について「他都市に動きがあれば実行する」とか、「国の方針が出れば行なう」とか、答弁がされました。他都市との比較でも4年生保育の現状でも、先進都市に入っていません。1～6年生の学童保育総数に占める4～6年生までの児童割合は、全国1741市町村の平均は14.7%です。中核市平均は13.0% 岐阜市は、なんと6.6%です。

(うら面につづく)

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

(おもて面からつづき)

## 学童保育 岐阜市の順位は 全国中核市(44市調査)で33位

文教委員会で 松原のりかず 資料請求して判明

調査回答のあった中核市44市中で第33位です。平成29年1月現在では4.7%の実態です。教育立市とは名ばかりの、実に、全国平均と10%の格差があります。

459プロジェクト予算に教育予算が約30%近く消費されています。本来、観光予算、企画予算で行なうべき事業です。教育委員会は、予算編成にもっと積極的に発言し、学童保育用教室の建設費を確保すべきです。

教育施設の下水道切り替えの遅れを早急に解消すべきです。とりわけ、災害時に避難場所となる可能性のある施設について、年次計画を作成すべきです。

各部に共通します。海外視察旅費は総額700万円を超える事業もあり、大変高額です。多くの旅行者を入れた入札にすべきです。新規に創設された給付型奨学金の年間予算は、わずか144万円です。

(3月議会 松原のりかず 討論より)

## 3 浅野

自民党が「岐阜市長選の候補者選出で苦慮されている」との新聞報道がされました。そんな時期になったのか。時間の速さに驚くところです。松原のりかず は市長選では浅野勇候補から始まり、森川候補、浅野真候補、浅野裕司候補 各候補の選挙を支援させて頂きました。浅野勇氏も支援された森川候補は、助役時代の「職員退職者弘済会の解散時の誠実な対応」に感銘を受けています。

森川候補を支援した議員七人の内3人は逝去、3人は議員を辞められ、今は松原だけ議員在職。森川候補後、2人の浅野候補を支援しましたが、惜敗。浅野姓の御縁がありますが、選挙は難しい。今回は柴橋候補が現職に2000票を切る肉薄。「自民党の苦慮」もそんな所の心配をされているのでしょうか？ 最近、柴橋氏のポスターが目につく、市会議員選挙は市内400枚だから各校区8枚検討。柴橋氏ポスターは8枚どころではないと思われます。数千枚の単位でしょうか。松原の地元の本郷を歩いたら、松原後援会カンパンの隣に柴橋氏の大きなポスターが、「あれあれ、こんな所にも」と。



松原のりかず

☎058-253-2500